

# 決算



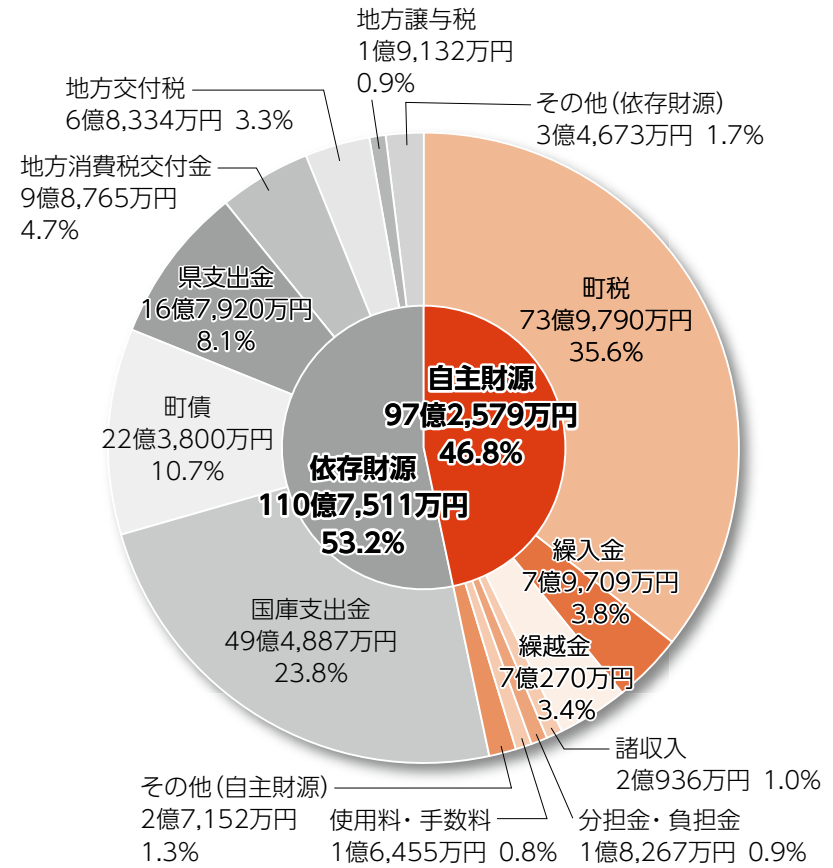
令和3年度一般会計の決算について、皆さんから納めていただいた税金や、国・県からの補助金や交付金などがどのように使われたのか、解説します。

※各項目の金額などは、四捨五入により、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

財政課 財政係 ☎(232)2130

## 一般会計 歳入

208億90万円  
(前年度比4億4,218万円減)



| その他(依存財源)の内訳    |           |
|-----------------|-----------|
| 地方特例交付金         | 1億5,332万円 |
| 法人事業税交付金        | 1億1,441万円 |
| 株式等譲渡所得割交付金     | 2,943万円   |
| 配当割交付金          | 1,461万円   |
| ゴルフ場利用税交付金      | 1,274万円   |
| 環境性能割交付金        | 791万円     |
| 交通安全対策特別交付金     | 765万円     |
| 国有提供施設等所在市町村交付金 | 346万円     |
| 利子割交付金          | 320万円     |

| その他(自主財源)の内訳 |           |
|--------------|-----------|
| 寄附金          | 8,298万円   |
| 財産収入         | 1億8,854万円 |

| 町税の内訳  |            |
|--------|------------|
| 固定資産税  | 38億9,149万円 |
| うち土地   | 8億9,083万円  |
| うち家屋   | 16億1,639万円 |
| うち償却資産 | 13億4,002万円 |
| うち交付金  | 4,425万円    |
| 個人町民税  | 24億1,680万円 |
| 法人町民税  | 6億515万円    |
| 町たばこ税  | 3億4,318万円  |
| 軽自動車税  | 1億4,128万円  |

令和3年度一般会計の決算額は、歳入が208億90万円、歳出が197億4,565万円、歳入から歳出を差し引くと10億5,255万円の黒字となりました。このうち3億7,171万円は令和4年度に繰り越して行う事業費に充てるため、実際には6億8,354万円の黒字です。

また、前年度末に比べ、基金(町の貯金)は7億2,010万円増加して54億5,725万円に、町の借金である町債は7億9,090万円増加して16億8,569万円になりました。

### 歳入

歳入は、町税や使用料など町独自で確保する「自主財源」と、地方交付税や国庫支出金など国や県の基準に基づき交付される「依存財源」に分けられます。

「自主財源」は全体の46.8%で、その主なものは町税73億9,790万円、繰入金7億9,709万円、繰越金7億270万円、諸収入2億936万円などです。

一方「依存財源」は全体の53.2%で、国庫支出金49億4,887万円、町債22億3,800万円、県支出金16億7,920万円、地方消費税交付金9億8,765万円、地方交付税6億8,334万円などです。

### 歳出

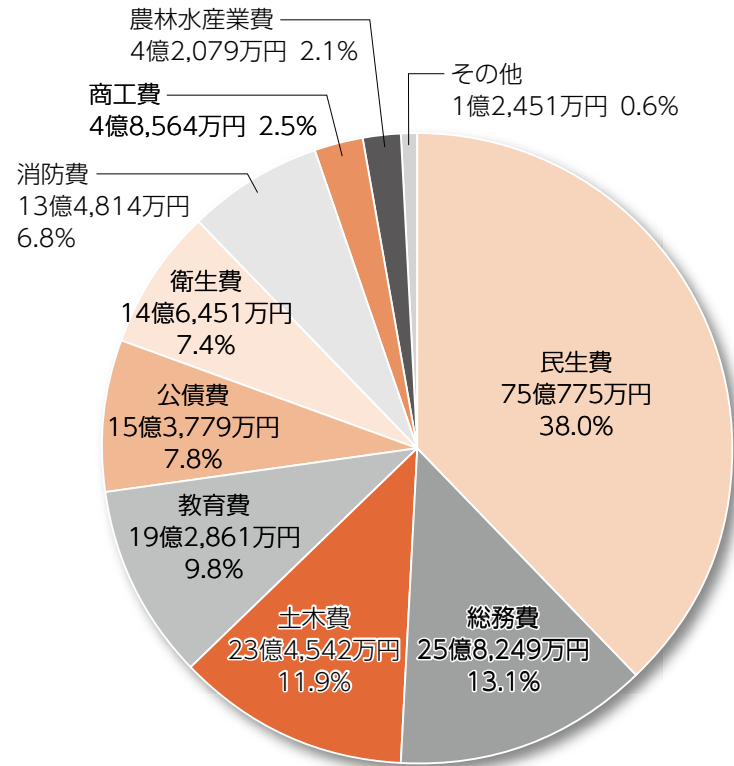
歳出を目的別にみると、民生費が75億7,511万円、全体の38%を占めて最も多く、次いで総務費が25億8,249万円(13.1%)、土木費が23億4,542万円(11.9%)、続いて教育費、公債費の順となっています。

歳出総額を、令和4年3月31日現在の人口4万3,449人で割ると、町民一人当たり45万4,454円が使われた計算になります。

次のページで、令和3年度の主な事業内容を紹介します。

## 一般会計 歳出

197億4,565万円  
(前年度比7億9,474万円減)



| その他の内訳 |           |
|--------|-----------|
| 議会費    | 1億2,140万円 |
| 労働費    | 311万円     |

### 町の貯金と借金(一般会計)

#### 貯金

(基金残高) 令和3年度末  
54億5,725万円

町民一人当たり  
12万5,601円

#### 借金

(町債残高) 令和3年度末  
168億5,695万円

町民一人当たり  
38万7,971円

令和3年度町民一人当たり  
に換算した歳入  
47万8,743円

※歳入を令和4年3月31日現在の人口(43,449人)で割ったもの

令和3年度一般会計で町民一人当たり  
に使われたお金(歳出) 45万4,454円

|                 |                |                  |
|-----------------|----------------|------------------|
| 民生費<br>172,794円 | 総務費<br>59,437円 | 土木費<br>53,981円   |
| 教育費<br>44,388円  | 公債費<br>35,393円 | 衛生費<br>33,706円   |
| 消防費<br>31,028円  | 商工費<br>11,177円 | 農林水産業費<br>9,685円 |
| 議会費<br>2,794円   | 労働費<br>71円     |                  |

※令和4年3月31日現在の人口(43,449人)で計算しています。

### 一般会計の決算の状況

町の財政は健全な状態 健全化判断比率・資金不足比率

令和3年度決算に基づく「健全化判断比率」と「資金不足比率」を算定しました。  
これは、これらの比率から地方公共団体の財政状況悪化の様子をとらえ、早いうちから健全化を図ることを目的としたものです。

【健全化判断比率】

| 健全化判断比率   | 町の状況    | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|-----------|---------|---------|--------|
| ①実質赤字比率   | 黒字のためなし | 13.39%  | 20.00% |
| ②連結実質赤字比率 | 黒字のためなし | 18.39%  | 30.00% |
| ③実質公債費比率  | 5.0%    | 25.0%   | 35.0%  |
| ④将来負担比率   | 24.4%   | 350.0%  |        |

※①～④の指標のうち、1つでも早期健全化基準以上の場合は「早期健全化団体」とされ、財政健全化計画を、①～③の指標のうち、1つでも財政再生基準以上の場合は「財政再生団体」とされ、財政再生計画を定めなければなりません。

健全化判断比率には、①～④の4つの指標があります。これらは、主に地方公共団体の標準的な状態で収入されると見込まれる財源である「標準財政規模(令和3年度は約96億円)」に対する比率です。  
全ての指標で、早期健全化基準を下回っており、本町の財政は比較的健全な状況です。

- ①実質赤字比率

一般会計等の実質赤字の比率をいいます。当年度は約7億円の実質黒字となったため、赤字はありません。
- ②連結実質赤字比率

一般会計等に加え、公営事業会計及び公営企業会計を連結した実質赤字の比率です。当年度はいずれの特別会計も実質黒字であり、連結で約20億円の実質黒字となったため、赤字はありません。
- ③実質公債費比率

一般会計等の公債費に、一般会計が実質的に負担した、他会計の公債費などを加えた比率をいいます。当年度は5.0%でした。
- ④将来負担比率

地方債残高や将来支払う可能性のあるその他の負担の比率です。当年度は24.4%でした。

【資金不足比率】

| 資金不足比率        | 町の状況    | 経営健全化基準 |
|---------------|---------|---------|
| ①下水道事業会計      | 黒字のためなし | 20.00%  |
| ②工業団地造成事業特別会計 | 黒字のためなし | 20.00%  |

※資金不足比率が経営健全化基準以上の場合は「経営健全化団体」とされ、経営健全化計画を定めなければなりません。

(参考)健全化判断比率・資金不足比率の対象範囲

| 会計等の名称          |                | 健全化判断比率 |          |         |        |
|-----------------|----------------|---------|----------|---------|--------|
| 一般会計等           | 一般会計           | 実質赤字比率  | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|                 | 土地取得特別会計       |         |          |         |        |
| 公営事業会計          | 国民健康保険特別会計     |         |          |         |        |
|                 | 介護保険特別会計       |         |          |         |        |
|                 | 後期高齢者医療特別会計    |         |          |         |        |
| 公営企業会計          | 下水道事業会計        | 資金不足比率  |          |         |        |
|                 | 工業団地造成事業特別会計   |         |          |         |        |
| 一部事務組合<br>・広域連合 | 菊池広域連合         |         |          |         |        |
|                 | 菊池環境保全組合       |         |          |         |        |
|                 | 大津菊陽水道企業団      |         |          |         |        |
|                 | 熊本県市町村総合事務組合   |         |          |         |        |
|                 | 熊本県後期高齢者医療広域連合 |         |          |         |        |

公営企業の資金不足を料金収入などの規模と比較したものです。下水道事業会計及び工業団地造成事業特別会計は実質黒字となったため、資金不足比率はありません。

令和3年度 決算審査

町監査委員からは、決算などの審査の結果、「審査に付された各指標と算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されている。各指標を見る限り、数値に多少の増減はあるものの、過去の数値推移から問題はなく、町の財政運営はおおむね適正に行われていると認識している。今後の財政運営も慎重にお願いしたい。」との意見がありました。

令和3年度の主な事業内容

- 民生費 75億775万円

社会福祉協議会・シルバー人材センターの運営費助成、重度心身障害者医療費、児童福祉、児童手当、ひとり親家庭・寡婦対策、保育所(私立を含む)の運営などに64億6348万円支出しました。

また、国民健康保険特別会計へ2億5068万円、介護保険特別会計へ3億8230万円繰り出し、後期高齢者医療対策として広域連合への負担金と特別会計への繰出金あわせて4億1129万円支出しました。

総務費 25億8249万円

各地区施設(放送施設など)の整備、交通安全対策、防犯灯の設置、町内巡回バスの運行、電算システムの運用などに22億7234万円支出しました。

また、財政調整基金積立金として3億1015万円積み立てました。

土木費 23億4542万円

道路新設改良事業、町道・公園・町営住宅の維持管理などに19億8050万円、土地区画整理事業に1億1771万円支出し、公共下水道事業分として2億4720万円繰り出しました。
- 教育費 19億2861万円

菊陽北小学校増築工事費として6億6099万円、各小中学校の運営費、幼児教育などに10億円、図書館や生涯学習施設の運営、生涯学習、青少年育成、文化振興、人権教育・啓発の推進などの社会教育費に2億3719万円、社会体育に3043万円支出しました。

衛生費 14億6451万円

子ども医療費助成、予防接種、健康相談、集団検診、清掃費などに11億4390万円支出しました。

また、ごみ処理の負担金として菊池環境保全組合に3億397万円、し尿処理の負担金として菊池広域連合に1664万円支出しました。

消防費 13億4814万円

防災センター整備事業に8億2413万円支出しました。

また、菊池広域連合への負担金として4億3038万円支出し、消防団活動、各地区消防施設の整備などに9363万円支出しました。

商工費 4億8564万円

商工・観光振興などに3億7923万円支出しました。また、企業誘致費として1億641万円を支出しました。

平成28年熊本地震からの復旧・復興事業費 総額 8億3,043万円

主な事業(抜粋)

- 災害復興基金事業
- 地区公民館耐震化事業 404万円
- 耐震診断・改修助成金 210万円
- 災害復興関連事業
- 防災センター整備事業 8億2,070万円
- 光の森防災広場管理費 806万円

新型コロナウイルス感染症対策事業費 総額 18億5,820万円

主な事業(抜粋)

- 地方創生臨時交付金事業
- 菊陽町プレミアム付食事券事業 2億3,215万円
- 営業時間短縮要請協力金支援事業 5,298万円
- ワクチン接種体制確保事業 2億5,348万円
- 子育て世帯への臨時特別給付金事業 8億8,500万円
- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業\* 2億9,076万円

※住民税非課税世帯及び家計急変世帯に1世帯当たり10万円を給付する事業



菊陽北小学校増築工事

農林水産業費 4億2079万円

農業の振興、農道や水路などの整備、町有林の管理などに3億4976万円、菊陽町総合交流ターミナル施設さんふれあに2830万円を支出しました。

また、農業集落排水事業分として4273万円繰り出しました。

特別会計

一般会計のほか、5つの特別会計の決算は、次のとおりです。

|              |    |            |             |    |            |
|--------------|----|------------|-------------|----|------------|
| 土地取得特別会計     | 歳入 | 1億995万円    | 介護保険特別会計    | 歳入 | 27億328万円   |
|              | 歳出 | 1億991万円    |             | 歳出 | 26億5,723万円 |
| 工業団地造成事業特別会計 | 歳入 | 19億6,093万円 | 後期高齢者医療特別会計 | 歳入 | 4億4,534万円  |
|              | 歳出 | 18億5,789万円 |             | 歳出 | 4億3,008万円  |
| 国民健康保険特別会計   | 歳入 | 35億5,816万円 |             |    |            |
|              | 歳出 | 35億4,347万円 |             |    |            |



## 用語説明

### ○収益的収支

#### 他会計負担金

雨水処理に係る費用に充てるために一般会計から繰り入れたお金

#### 他会計補助金

事業運営のために一般会計から繰り入れたお金

#### 長期前受金戻入

施設建設のための過年度の収入を、後年度に均等に収益として整理するもの

#### 維持管理費

污水管、雨水管などの補修、清掃に必要な経費

#### 支払利息

下水道施設建設借入金の利子

### ○資本的収支

#### 他会計出資金

借入金償還元金に充てるため一般会計から繰り入れたお金

#### 他会計補助金

污水対策整備事業費に対して一般会計から繰り入れたお金

#### 受益者負担金

下水道を整備することで利益を得る受益者からの負担金

#### 交付金

施設建設や整備に対する国からの補助金

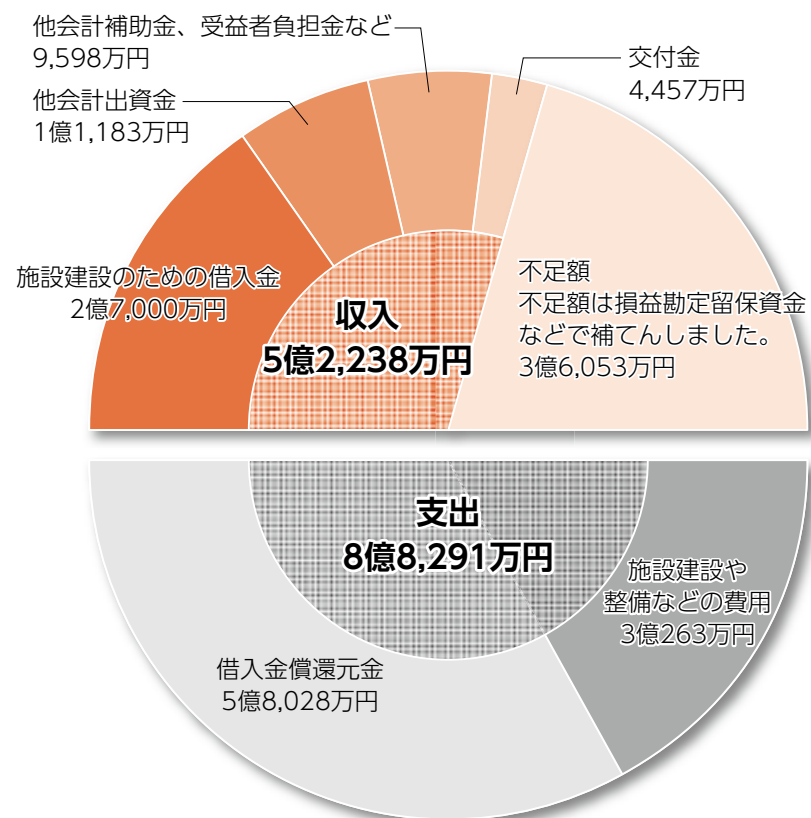
#### 損益勘定留保資金

収益的支出のうち減価償却費などは現金支出を伴わないため、内部に蓄えられたお金



## 資本的収支

下水道施設を整備・拡充するための経費とその財源



## 事業概況 (令和3年度末)

| 項目             | 公共下水道事業                 | 農業集落排水事業             |
|----------------|-------------------------|----------------------|
| 水洗化人口          | 41,943人                 | 778人                 |
| 水洗化世帯数         | 17,975世帯                | 308世帯                |
| 水洗化率           | 98.7%                   | 96.5%                |
| 年間有収水量         | 7,437,815m <sup>3</sup> | 79,520m <sup>3</sup> |
| 使用料回収率         | 110.2%                  | 70.1%                |
| 一般家庭使用料 (全国平均) | 2,020円 (2,858円)         | 2,020円 (3,285円)      |

### 水洗化率

下水道を利用することができる人口のうち、実際に下水道への接続工事を行い利用している人口の割合

### 年間有収水量

下水道使用料の徴収対象となった水量

### 使用料回収率

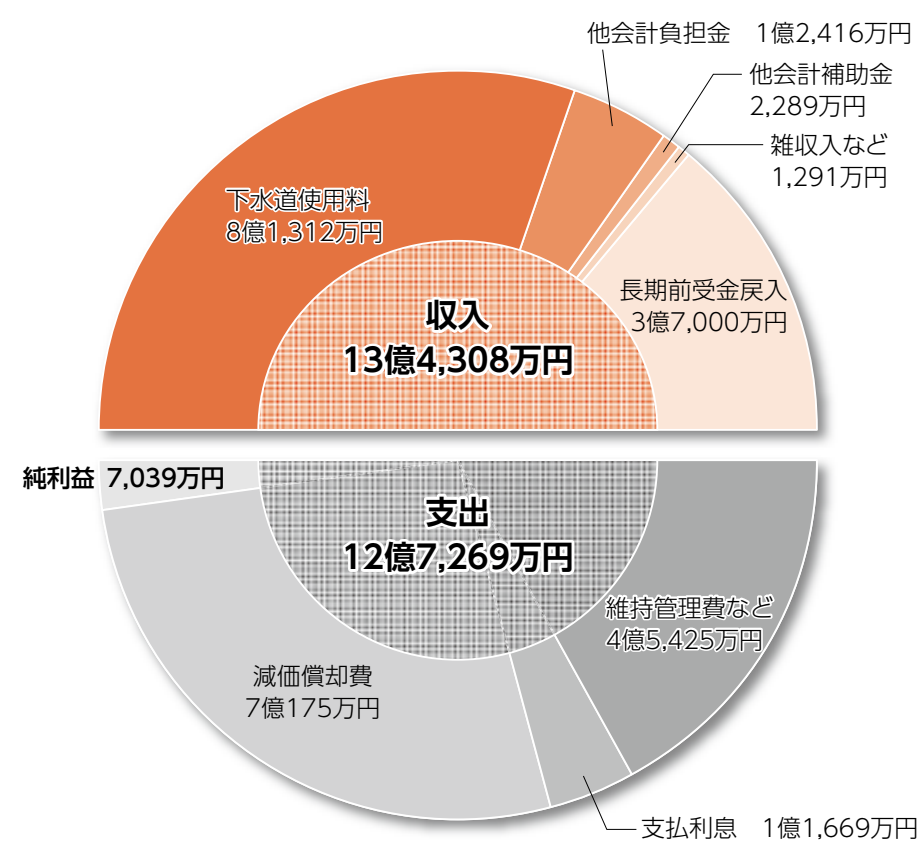
污水処理に必要な費用を使用料で回収できている割合

### 一般家庭使用料

ひと月に20立方メートル使った場合の下水道使用料

## 収益的収支

下水道を維持するための経費とその財源



## 工事の概要

### ◆公共下水道事業

- ・污水管の整備では津久礼污水枝線の整備や公共污水樹の設置など14件の工事を行いました。
- ・雨水対策では花立地区の雨水管整備など3件の工事を行いました。
- ・長寿命化対策では、機械設備更新工事など7件の工事を行いました。
- ◆農業集落排水事業
- ・曲手地区農業集落排水管路築造工事など3件の工事を行いました。

## 経理の状況

7039万円の純利益となりましたが、使用料だけでは全ての経費を賄えないため、一般会計から収益的収入と資本的収入に合わせて2億8993万円を繰り入れました。

菊陽町の下水道の普及率は、公共下水道、農業集落排水合わせて令和3年度末で99・7%になり、県内でも高い普及率となっています。しかし、敷設から40年以上が経過し、経年劣化している污水管もあります。今後は、下水道施設の適切な維持や効率的な更新に重点を置き、安定的な事業運営に取り組んでまいります。



曲手地区污水管整備の状況



花立地区雨水管整備の状況

令和3年度  
下水道事業

# 決算



令和3年度下水道事業会計の決算の状況をお知らせします。下水道事業会計では、公共下水道事業と農業集落排水事業の二つの事業を実施しています。

下水道課 業務係 ☎(232)2164